

県政レポート 歩く眼 第34号

永瀬ひでき



一般質問報告

「日暮里・舎人ライナーの延伸について」質問 提言

今号では、埼玉県の更なる発展と地元地域の公共交通網整備に大いに資すると考えられる「日暮里・舎人ライナーの延伸」について、県議会一般質問において提言した質問内容(概要)を報告させていただきます。

日暮里・舎人ライナーの延伸実現に向けた県の考え方について



永瀬秀樹の質問概要

日暮里・
舎人ライナ
ーについて

は、私の地元、川口市新郷地区より多数の住民が利用しており、西方向(埼玉高速鉄道線方面)に延伸した場合、当該地区的交通利便性向上につながり、その発展の起爆剤になるものと考えられます。また、将来、さいたま市方面にまで延伸させていく事で、鉄道空白地帯の解消と本県公共交通網の弱点である東西方向の公共交通網の補完にもつながり、県政発展の更なる原動力にも成り得ると考えられます。

一方で、事業採算性やインフラ整備に要する費用負担、新交通のため輸送力が低く、延伸元の足立区では延伸による混雑率上昇



▲▶日暮里・舎人ライナー

に懸念があることなど、実現にあたっての課題が多く、川口市においては、まずは、日暮里・舎人ライナーへのアクセス改善に向けた取り組みを進めることとしています。

そもそも県内の交通網整備は、国の交通政策審議会答申に基づき事業化の検討が進められています。しかし、日暮里・舎人ライナーは交通政策審議会の答申外路線であり、既に答申されている3路線とは違い、本来、県が事業化を検討するレベルの路線ではありません。このように、現在の終点、見沼代親水公園駅はほぼ埼玉、あと数マイルならぬ、あと300mで埼玉なのに、延伸は難しいと思われていた路線が、この度「あと数マイルPJT」の対象となり、検討が進んでいることに、沿線予定地域の新郷、鳩ヶ谷、神根、安行、戸塚地区の期待はいやがうえにも高まっています。私は、日暮里・舎人ライナーの延伸はぜひ実現してほしいと考え、延伸に向けての見解を、大野知事に伺いました。

大野知事の答弁

日暮里・舎人ライナーの終点である見沼代親水公園駅は、御指摘のとおり県境までわずか300m程の位置にあり、今でも一定の県民が利用しております。延伸先の県内はいずれの方向にせよ市街化されており、延伸により多くの県民のモビリティの向上が期待できるため、「あと数マイルプロジェクト」の対象路線としたものであります。

県では、今年度、有識者等による「公共交通の利便性向上検討会議」を設置し、延伸を実現するために何が必要かという観点から検討を進めることといたしました。検討会議においては、延伸先が決まっていないこと、輸送力が低いことなど、様々な課題が指摘をされております。

延伸を実現するためには、輸送力増強の可能性を探るとともに、他の鉄道路線と接続させるルートだけではなく、様々な交通手段と組み合わせたルートも含め、あらゆる可能性の検討が必要だと思います。課題は山積しております。しかしながら、この路線の延伸は、本県の更なる発展に向け大きな原動力の一つになるものと考えています。

今後、検討会議における取りまとめ結果を踏まえ、延伸の実現に向け、多くの課題があるとは思いますが、一つ一つ課題を克服し、粘り強く、しっかりと取り組んでまいる所存でございます。

以上の通り、延伸によりもたらされる効果は非常に高いながらも課題が多く、事業化を進める事が難しいと考えられていたこの路線の延伸実現に向けて、粘り強く取り組むという、大野知事の極めて力強い答弁を引き出しました。

延伸に向けた関係自治体との協議について

永瀬秀樹の質問概要

県では、「公共交通の利便性向上検討会議」において、「あと数マイルプロジェクト」の推進に向けた検討が進められており、この会議において、日暮里・舎人ライナーの延伸についても数々の課題が指摘されていますが、現時点では近隣関係自治体への協議などは行われていません。具体的な検討を進めるにあたり、まずは、延伸元の状況、接続先やルートを検討する必要があり、そのためには、関係する各市や東京都、地元住民の意見を踏まえる必要があると考えます。延伸を具体的に進めていく為に必須となる、近隣関係自治体との協議を促すべく、今後どのように検討を進めていくのか、伺いました。

埼玉県 企画財政部長の答弁

公共交通の利便性向上検討会議での取り組みの方向性は、複数のルートで事業効果を検証し延伸ルートを絞り込むことなどとされております。このため、来年度は、まずは延伸ルートや接続先等について、複数の可能性を探る調査を行うこととしております。その上で、延伸ルートの絞り込みを検討するとともに、延伸の可能性のある各市の考え方や地元住民の意向などを確認しながら、機運の醸成を進めてまいります。

また、都内区間における混雑率の高さは大きな課題であり、検討会議でも、輸送力増強の必要性について議論されています。東京都との調整につきましては、県として、こうした課題解決に一定の見通しを立てた上で進めてまいりたいと考えています。

との、延伸実現に向けての具体的で、前向きな姿勢を表す答弁を引き出しました。

延伸方向について

永瀬秀樹の質問概要

「公共交通の利便性向上検討会議」においては、現在3方向への延伸が想定されていますが、どの方向も市街化が進んでおり、ルートを精査し、建設コストや工期、事業効果等について検討していくと

のことです。

日暮里・舎人ライナーは片側2車線ある尾久橋通りの中央分離帯上に設置された幅約4mの橋桁の上に高架線として整備されており、尾久橋通りは約300m先の埼玉県に入ると第二産業道路と名前を変え、新郷、鳩ヶ谷地区を北西方向に進みます。道幅や中央分離帯の規格が都側とさほど変わらない、この第二産業道路上に延伸していくのであれば、現在の構造のまま延伸させることが容易であり、建設面での有利さがあると考えられます。

また、延伸先には埼玉高速鉄道が走って



おり、鳩ヶ谷駅等での接続により、この地域の産業の活性化と県民生活の向上に大いに資するものと考えられます。

さらに、3方向で唯一、過去に川口市が検討していた延伸ルートでもあり、地域住民の間では延伸を求めて再び署名活動が行われ既に数千人の署名も集まったと仄聞しています。延伸を望む地元の気運も高まっています。

以上の事から、私は、この第二産業道路上を西方向へ延伸していくルートが延伸先として最も望ましいと考え、西方向への延伸を進めるよう、提言しました。

埼玉県 企画財政部長の答弁

第二産業道路を利用した延伸は、道路空間の利用により路線を整備するために支障となる物件等が少なく、コストの縮減が見込まれます。

一方で、鉄道の延伸は、そのコストとともに、利用者の利便性の向上などの便益も併せて総合的に検討した上で、最も効果的で実現可能性の高いものとしていく必要がございます。こうした観点から、御提案のルートも含め、複数のルートで実現可能性を調査するとともに、それぞれの事業効果を検証した上で絞り込んでまいりたいと考えております。

鉄道には、利用者便益、供給者便益、環境等改善便益などの様々な便益に加え、レールという固定された専用軌道が目に見えるルートとして存在することで、安心感や信頼性をもたらし、地域のシンボル、地域のイメージアップに資する存在効果も期待できます。

このように大きなレールボーナスの享受が期待できる日暮里・舎人ライナーの延伸については、県の主要プロジェクトとして位置づけられ、再起動しました。課題は多く、実現に向けては険しい道のりが予想されますが、今後の埼玉県並びに新郷地区、鳩ヶ谷地区をはじめとした川口市北東部の発展に大いに寄与すると考えられるため、延伸の早期実現に向けて、これからもしっかりと取り組んでまいります。

私の質問の傍聴記事が新郷新聞に掲載されました。

3月4日の埼玉県議会定例会で、地元永瀬秀樹県議会議員が「日暮里・舎人ライナー」の第2産業道路沿いの延伸について質問されました。(写真)私が平成15年依頼取り組んできた課題が、大野元裕埼玉県知事の誕生により俎状にのせられました。

知事の公約実現の一環として「あと数マイルプロジェクト」のもと「公共交通の利便性向上検討会議」が設置され「日暮里・舎人ライナー延伸」が検討されていました。

県では3方向の路線が延長案としてあるようですが、永瀬県議の質問で、現在、尾久橋通りの延長線上にある第2産業道路であるの延伸が合理的であり、鳩ヶ谷駅等の接続により、新郷、鳩ヶ谷地区の産業の活性化と県民生活に資することになるのではないかと質問されました。

これに対し、大野県知事が答弁に

立ち、日暮里・舍人ライナーの終点から県境までわずか300mほどの位置にあり、今でも一定の県民が利用している。延伸先は市街化されており、延伸は県民のモビリティの向上が期待できる。
しかし、検討会議では、延伸先が決まっていないことと、輸送力が低いこと等様々な課題はあるが、路線延伸は本県発展に向け、大きな原動力の一つと考え、多くの課題を克服し粘り強くしつかりと取り組んでいく結果と答えました。
この力強い大野伸は、本県知事の答弁と新郷、鳩ヶ谷地区の現状を的確に把握し、質問された永瀬県議に地元議員の心意を感じました。延伸実現に向けた頑張りますので、一層のご協力を願いいたします。

地元新聞(新郷新聞)に掲載された前原博孝市議会議員の一般質問傍聴記事。

あなたのご意見をお聞かせ下さい。

自民党県議団 県政調査事務所

〒332-0012 川口市本町4-8-12-102 Tel.048-223-6050 Fax.048-223-6170